家庭学習ガイドブック

中野区立江古田小学校

《保護者の皆様》

家庭学習は、学校で学習したことをしっかりと身に付けるために、また、自ら学ぶ習慣を身に付けるためにもとても大切です。小学校で身に付けた自ら学ぶ習慣は、今後の学びに大きくつながります。小学校のうちに家庭学習の習慣を身に付けさせましょう。

1 家庭学習のさせ方

- ①担任から出る「宿題」を最初にさせてください。
- ②残りの時間は、自分の学習をさせてください。「家庭学習の手引き」も参考にしてください。
- ③どうしても勉強がすすまないときは、読書など何でも構いません。「机に向かう」という習慣が大切です。
- ④勉強が終わったら、次の日の準備をさせてください。

2 時間のめやす

・低学年 15分～20分以上 ・中学年 30分～40分以上 ・高学年 50分～60分以上

3 家庭学習における保護者の役割

①学習時間の確保

「何時から何時まで勉強する」というように、家庭でよく話し合い、無理のないような時間設定をしてください。短い時間でも「必ず机に向かう」習慣を身に付けさせましょう。

②学ぶための環境づくり

例えば、テレビをつけながら勉強をしても効果は上がりません。子どもが落ち着いた環境で学習できるように各家庭で工夫したり話し合ったりしてください。

③見届ける・励ます

子どもが学習したことに目を通す、声掛けをする、コメントを書く、スタンプを押すなどしてください。褒めたり励ましたりすることで、子どもはやる気を出します。子どもの様子を把握しながら保護者の方も読書する等、できるだけ時間を共有してみることもよいですね。

家庭学習に役立つサイト

- ・東京ベーシック・ドリル ～ 「東京ベーシック・ドリル（電子版）」
- ・NHK for School
- ・LINE entry
- ・「プログル」
- ・Tokyo Gloval Studio など

*上記サイトは、全て江古田小学校ホームページ「リンク集」からリンクしています。

《じどう みな 児童の皆さん》

かていがくしゅう まな かえ たし がくりよく み つ
家庭学習は、学んだことをふり返し、確かな学力を身に付けるためのものです。
まいにち つづ
毎日コツコツと続けていくことが大切です。できることから続けてみましょう。

ねんせいよう
1・2年生用

(1) かていがくしゅう 家庭学習をするときには

- ① ぶんにじょうがくしゅう 20分以上学習しましょう。
- ② はじめに、がっこう しゅくだい 学校の宿題をやりましょう。
- ③ じかん 時間があまったときは、じぶん がくしゅう と く 自分の学習に取り組みましょう。
- ④ テレビは消して、がくしゅう 学習しましょう。
- ⑤ がくしゅう お あした がっこう じゅんび 学習が終わったら、明日の学校の準備をしましょう。

(2) しゅくだい ほか がくしゅう 宿題の他に、こんなことも学習しましょう。

- ① きょうかしよ ぶんしやう 教科書の文章を、はっきりした声で正しくすらすらと読めるように練習しましょう。
- ② ひらがなやかたかなを、ただ か れんしゅう 正しくきれいに書く練習をしましょう。
- ③ かんじ か じゅん おく が な き つ か れんしゅう 漢字の書き順や送り仮名に気を付けて書く練習をしましょう。
- ④ テストでまちがえた漢字や言葉について、ノートに正しくなおして書いてみましょう。
- ⑤ きょうかしよ ぶんしやう こころ 教科書の文章で、心にのこったところや、好きなどをノートに書きうつしてみましょう。
- ⑥ につき か できごと おも だ か かん 日記を書いてみましょう。(出来事をよく思い出して書きましょう。)また、感じたこと
おも かなら か
や思ったことも必ず書きましょう。
- ⑦ なかの さつ ほん よ よ お ほん だいめい か 中野の100冊など本をたくさん読みましょう。読み終わったら、本の題名、書いた人、
おも みじか か
思ったことを短く書いておくとよいですね。
- ⑧ さんすう きょうかしよ れんしゅうもんだい いちど 算数の教科書の練習問題をもう一度やってみましょう。
- ⑨ とけい よ かた れんしゅう おうちの人と時計の読み方を練習しましょう。

《児童の皆さん》

家庭学習は、学んだことをふり返し、確かな学力を身に付けるためのものです。毎日コツコツと続けていくことが大切です。できることから続けてみましょう。

3・4年生用

(1) 家庭学習をするときには

- ① 分からないことや気になることは、本やインターネット等で調べてみましょう。
- ② 毎日30～40分以上は、学習しましょう。
- ③ 明日の学習や用具の準備をしておきましょう。

(2) 宿題の他に、こんなことも学習しましょう。

- ① はっきりとした声で音読を練習しましょう。(お家の人に聞いてもらいましょう。)
- ② 1日のふり返しとして、したことや思ったことを日記に書きましょう。
- ③ ドリルなどを使って、筆順に気を付けながら漢字の練習を進めましょう。
- ④ ドリルなどを使って、計算問題をたくさんといてみましょう。
- ⑤ 今日の授業で勉強したことを、教科書やノートを見直して復習をしましょう。
- ⑥ 分からない言葉を辞書で調べよう。用例も書いておきましょう。
- ⑦ テストやプリントでまちがったところをもう一度やり直してみましょう。
- ⑧ 自分でテーマを決めて調べたりまとめたり、自分の学習に取り組みましょう。
- ⑨ 読書を進めましょう。
- ⑩ ニュースに関心を持ち、できるだけ新聞を読みましょう。

《児童の皆さん》

家庭学習は、学んだことをふり返し、確かな学力を身に付けるためのものです。毎日コツコツと続けていくことが大切です。できることから続けてみましょう。

5・6年生用

(1) 家庭学習をするときには

- ① 新しく発見したことや気になったことは、本やインターネット等で調べてみましょう。
- ② 見通しをもって、用具や学習の準備をしておきましょう。
- ③ 毎日1時間は、机に向かう習慣を付けましょう。

(2) 宿題の他に、こんなことも学習しましょう。

- ① はっきりとした声で音読の練習をしましょう。(めあてをもって)
- ② 1日のふり返しとして、したことや思ったことを日記に書きましょう。
- ③ ドリルなどを使って、筆順に気を付けながら漢字の練習を進めましょう。
- ④ 今日の授業で勉強したことをふり返し、ノートを見直したり、練習問題に取り組んだり、復習したりしましょう。
- ⑤ ドリルなどの計算練習に毎日粘り強く取り組んでみましょう。
- ⑥ 分からない言葉を辞書で調べて、用例も書いておきましょう。
- ⑦ テストやプリントで間違ったところをもう一度やり直してみましょう。
- ⑧ 教科書の言葉の広場の問題(国語)や練習問題(算数)を解いてみましょう。
- ⑨ 読書を進めましょう。
- ⑩ ニュースに関心を持ち、できるだけ新聞を読みましょう。

(3) バージョンアップするために

- ① 自分の生活スケジュールを立て、スケジュールの通りに学習に取り組みましょう。
- ② 「なぜ」「不思議」という気持ちを大切に、学習に取り組みましょう。
- ③ マイテーマを見つけて自分の学習に取り組みましょう。
- ④ 自分の好きな付箋やマーカーを使って、オリジナルノートを作るなど、楽しんで学習してもいいですね。